

令和8年度の前期が終了いたしました。この半年間、子ども達は授業や学校行事を通し、友達と協力しながら工夫し、実際に試行錯誤を繰り返しながら大きく成長してまいりました。学習面はもちろんのこと、集団生活の中でも互いを思いやり、高め合う姿が多く見られたことを大変頼もしく感じております。日頃からの保護者の皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

後期におきましても、子ども達が多様な課題にチャレンジし、さらに自身の可能性と力を伸ばしていけるよう、全教職員一丸となって指導、支援に努めてまいります。

命を守る行動を学ぶ ～1日防災学校～

9月16日（水）に1日防災学校を実施いたしました。1校時の避難訓練では地震発生後に「津波警報」が発令されたとの想定のもと、実際の避難場所である「ゼロネクストワンアリーナ」を目指しました。真剣な表情で坂を登り切る子ども達の姿に「命を守る」という強い自覚が感じられました。

その後の防災学習では、低学年は「防災カルタ」を通した安全な行動への理解、中学年は「新聞紙スリッパ作り」行い、身近な防災への工夫、5年生は防災マスターの資格を持つ浦河高校の生徒の皆さんを講師に招いての「避難所設営体験」、6年生は「ハイゼックス袋を活用した防災食調理」と各学年、実践的な学習に取り組みました。

自分自身の身の安全の確保にとどまらず、災害時に自ら考え行動することの大切さを実感した一日となりました。



仲間と共に高め合った2日間 ～5年宿泊学習～

9月10日（木）、11日（金）の2日間、5年生が「うらかわ優駿ビレッジAERU」にて宿泊学習を行いました。これまで5年生は、しおりの作成やレクリエーションの企画など、一人一人が役割と責任をもち、時間をかけて念入りに準備を進めていました。

当日はその準備の成果を発揮し、互いに声をかけ合い、助け合いながら活動する姿が多く見られました。集団行動での決まりを守る「社会性」、自分たちで考えて動く「自主性」、そして仲間と協力する「協調性」を意識し、学びの多い充実した2日間となりました。



調査結果をお知らせします。 ～全国学力・学習状況調査～

4月に6年生が実施した令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

	本校平均正答率	全道平均正答率	全国平均正答率
国語	59%	60%	60.9%
算数	65%	54%	56.4%



本校の子ども達は「知識・技能」が定着している一方、「文章を正確に読み解く力（読解力）」と「条件を満たして説明する力（表現力）」に課題が見られました。全職員でこの結果を分析し、改善策に取り組んでいきます。

1. 【聞く・確かめる】問いと条件を言葉にできるようにする。

問題に取り組む際は「何を聞かれているのか？」「どのような条件があるのか？」を全体で共有し、条件の読み落としが無いようにしていきます。また、子ども達の発言の内容を教師が丁寧に聞き取り、整理して適切な言葉へ導くようにします。

2. 【慣れる・書く】「型」を活用した段階的な指導をしていく。

日常の漢字や短文作成で基礎を固めつつ、「私は～と考えます。理由は～だからです。」といった「話す・書く」ための型を提示し、文章を書く練習を進めていきます。短い文章から始めることで、子ども達が文章を書くことへの苦手意識を減らしていきます。

3. 【伝え合う】根拠をもって説明できるようにする。

算数でのペア、グループでの交流、理科でのデータ活用などを通し、根拠（数値や資料）を示しながら、筋道を立てて説明する機会を増やします。言葉が足りない場面があっても子ども達で協力し合いながら補い、安心して発表できる学級環境を進めていきます。

これからも保護者の皆様と協力しながら、児童に学力が身に付くように取り組んでいきます。